

行動計画 第1次中間とりまとめ (イメージ)

行動計画により取り扱う技術・領域・インフラの候補

優先順位	空港DX技術 インフラ整備	選定理由・期待される効果
①		
②		
③		
④		
⑤		
⑥		

空港におけるDX技術実装化に向けた課題抽出

論点	論点の概要	論点の要因・想定される対応等
充電設備の整備主体	～。	～。
電源設備の増強		
通信環境の改良		

空港における空港DX技術導入・インフラ整備計画（R9～10年度）

[illegible]

行動計画
第2次中間とりまとめ ver1
(イメージ)

検討対象一覧（空港DX技術・インフラ）

	選定理由・期待される効果
①自動走行トレーイングトラクター	
②充電設備	
③	
④	
⑤	
⑥	

導入状況

導入状況（2026年8月時点）

【台数、整備主体等】

.

議論が必要な論点

論点	論点の概要・要因	検討の進め方
充電設備の整備主体	～。	～。
電源設備の増強		
通信環境の改良		

行動計画
第2次中間とりまとめ ver2
(イメージ)

目標一覧（空港DX技術・インフラ）（案）

	2030年		2035年	
全体目標	【アウトカム】 %生産性向上等		【アウトカム】 %生産性向上等	
①自動走行 トローリングトラ クター	【台数・割合】	【アウトカム】	【台数・割合】	【アウトカム】
②充電設備	【台数・割合】	【アウトカム】 －		
③				
④				
⑤				
⑥				

【①自動走行トレーイングトラクター】

生産性向上の目標（案）

導入状況（2026年8月時点）

【台数、整備主体等】

・



導入状況（2030年目標）

【台数、整備主体等】

・

【アウトカム】

- ・〇%省力化（or〇%生産性向上）
- ・〇人／〇台減少

導入状況（2035年目標）

【台数、整備主体等】

・

【アウトカム】

- ・〇%省力化（or〇%生産性向上）
- ・〇人／〇台減少

【①自動走行トーイングトラクター】

論点と解決に向けた方向性

	論点の概要・要因	解決に向けた方向性
充電設備の整備主体	～。	～。
電源設備の増強		
通信環境の改良		

【①自動走行トレーイングトラクター】

ロードマップ（案）

項目	主体	2027年	2028年	2029年	2030年	～	2035年
車両の導入	【航空会社】 ・〇〇 ・〇〇	〇〇		〇〇		〇〇	
充電設備の整備	【空港ターミナルビル会社】 ・〇〇	〇〇					
通信環境の改善	【空港関係事業者】 ・	〇〇		〇〇			
		〇〇					

**行動計画
最終とりまとめ
(イメージ)**

目標一覧（空港DX技術・インフラ）

	2030年		2035年	
全体目標	【アウトカム】 %生産性向上等		【アウトカム】 %生産性向上等	
①自動走行 トレーイングトラ クター	【台数・割合】	【アウトカム】	【台数・割合】	【アウトカム】
②充電設備	【台数・割合】	【アウトカム】 －		
③				
④				
⑤				
⑥				

【①自動走行トレーイングトラクター】

生産性向上の目標

導入状況（2026年8月時点）

【台数、整備主体等】

・



導入状況（2030年目標）

【台数、整備主体等】

・

【アウトカム】

- ・〇%省力化（or〇%生産性向上）
- ・〇人／〇台減少

導入状況（2035年目標）

【台数、整備主体等】

・

【アウトカム】

- ・〇%省力化（or〇%生産性向上）
- ・〇人／〇台減少

【①自動走行トーイングトラクター】

ランプハンドリング

論点と解決方針

論点の概要・要因

解決方針

充電設備の
整備主体

～。

～。

電源設備の
増強

通信環境の
改良

【①自動走行トーイングトラクター】

ロードマップ

項目	主体	2027年	2028年	2029年	2030年	～	2035年
車両の導入	【航空会社】 ・〇〇 ・〇〇	〇〇		〇〇		〇〇	
充電設備の整備	【空港ターミナルビル会社】 ・〇〇	〇〇					
通信環境の改善	【空港関係事業者】 ・	〇〇		〇〇			
		〇〇					